

田沼

新聞

29号

稲毛区

「創生日本」 田沼隆志

〔市議会ですべて一人の無所属（保守系）〕

議会報告



●正しい歴史を伝えられない教科書が採択…残念です

「日本を悪者として書いた歴史教科書では、日本人の誇りは育てられない」「国民として知っておくべき常識を正しく伝える公民教科書が不可欠」「教科書が変われば若者が変わる、若者が変われば日本が変わる」

その信念一筋で政治の世界に入り、これまで最も力を入れてきたのが教育改革、特に教科書採択の改善でした。

8月3日教育委員会会議で、来年度から4年間、市の中学校で使われる教科書の採択が行われましたが、歴史・公民教科書は残念ながら、**内容に非常に問題がある**と思わざるを得ない「東京書籍」に決まりました。

採択に先立ち、6月議会では、**教科書選定プロセスがおかしい**ことについて、質問しました。

田沼の質問

答弁

教育委員会事務局が、特定の教科書会社を推薦するのは、やめるべきでは？ これまでの採択でも結局、事務局が推薦した会社に決まっている。決定者である教育委員の判断を乱している可能性がある。

事務局は報告の義務がある。（田沼：報告義務があっても、**決定権者は委員のはず。事務局が実質的に教科書会社を決定している実態があるのでは、越権行為の恐れあり！**）

教科書は各社で内容が違うが、委員から「事務局からの資料は良い点ばかり書かれていて判断できない」という意見が毎回出ている。改善すべきでは？

該当する頁を紹介するなど工夫している。（田沼：**要望と対応がかみ合っていない…せめて懸念点を書く、分量を増やすなど、まともな改善をして欲しい！**）

教育基本法第2条「教育の目標」には「国を愛する態度を養う」とあるが、どこの会社の教科書がそれに適しているのかが、今の事務局資料ではわからないが？

県教委から資料の作り方の指導があり、それに合わせている。（田沼：**責任は県に丸投げ？資料の抜粋を↓に載せませす。これではどこがどう違うのかまるでわからない！**）

田沼新聞28号でお伝えしたように、私自身、毎回の議会質問以外にも、できることを精一杯やってきました。

- ・自民党ほかと共同で、教委に、公平選定の要望書提出
- ・市民アンケート（ご協力に感謝！質問で活用しました）
- ・公平選定の陳情を、教育未来委員会で採択 他

そしてまた今回の採択にあたっては、国や県から、教育基本法の趣旨に沿った教科書を採択するよう、異例の通知が出ており、市教委も「通知を踏まえる」と前向きに答弁していました。つまり、市民も、議会も、国も、県も、教基法の遵守を求めているのです。

しかし結果は…これまでと同じ、東京書籍に。**非常に残念です**。これまで35年間、同じです。

この教科書は、日本を悪者に書く記述があまりに多過ぎる。教えるべき偉人、例えば二宮尊徳も載っていない。自衛隊も憲法違反の疑いありと教える。拉致問題も、これにこだわる日本政府側に責任があるような書き方。…これで教育基本法の目標である「国を愛する」「国民の自覚を育む」ことはできるでしょうか？

やはり**本質は、教育委員会の、前例踏襲・事なかれ主義体質**。何を言っても「ちゃんとやっています」と優等生答弁。自分たち組織内の論理が完全に正しいという前提で、問題の存在自体を認めない… 深い失望を感じます。

それでも日本全体では、横浜市や藤沢市など、全体冊数の約4%で、相応しい教科書（育鵬社・自由社）が採択されました。**千葉市もこの流れに遅れないよう、私も今回の結果にめげることなく、闘っていきます！**

コラム：他自治体で正しい採択がなされたところを見ると、知事・市長が明確な教育理念を持っているところが目立ちます。逆に、杉並区はこれまで山田宏区長が明確な理念のもと、正しい教科書採択を後押し・実現していましたが、今回は区長が変わっていたため、採択も日本悪者史観の教科書に戻ってしまいました。首長の影響力が非常に重要であることが改めて証明されました。千葉では熊谷市長は民主党出身。教育理念は全く見えません。期待はできませんが、諦めずに改善を求めます。

恒例！

13時間連続 演説マラソン、また開催！

日時：9月30日(金)7時～20時

場所：JR稲毛駅にて

頑張ります！
お声掛け頂ければ
うれしいです♪

●国難からの復興へ！…震災ボランティア&視察報告

8月1～3日で、岩手県陸前高田方面に、震災ボランティアに行ってきました。震災から半年近く経ちますが、依然瓦礫や車、船舶などが散乱しており、現場の壮絶さはテレビ等で見る以上にすごいものでした。またボランティアの他、行政の対応や防災体制作りなども視察。千葉や日本の復興を考える上で大きな示唆を得てきました。

●津波被害民家の清掃ボランティアに参加

捨てるものと保存したいものなどを分類したり、神棚仏壇や障子戸をきれいにしたり。一家族でできる作業量を明らかに越えていたので、とても喜ばれました。

陸前高田ボランティアセンターの方にも話を聞きました。まだ**まだボランティアが必要、特に平日が有難いとのこと**です。ぜひ皆さんもご参加下さい。旅行会社のツアーが便利です！



●陸前高田市役所にて、戸羽防災対策室長補佐にヒアリング

- ・全8000世帯のうち半数以上が被災し、全壊は3800世帯。
- ・国や県の支援は薄く、ほとんどは市町村がやっている。しかし財政が厳しいため、被災者の仮設住宅入居のメドはたったが、生活再建の見通しは全くたっていない
- ・職員の1/3が亡くなり、業務が回らず大変だった。他市からの職員派遣がなければここまで来られなかっただろう。千葉市にもご遺体の火葬でお世話になり、感謝している



●大槌町にて、平野総務課長(町長代行)にヒアリング

- ・職員は139名いたが、33名が流された。今は他市からの人的支援でなんとかやっている
- ・町長も亡くなり、副町長も任期満了で退任。いまは総務課長の自分が町長を代行している
- ・庁舎が流されたのは、ダメージが大きかった。今はプレハブで業務している
- ・住民の自立心や、地域文化を守るなどの、心の復旧のニーズが高まっている
- ・人口流出が一番の不安材料。いつ復旧できるかが見えないと、住民の心が折れ、流出してしまう。しかしインフラの復旧は市町村レベルでは無理。国、県からの、明確な方針が欲しい
- ・町長不在は、復興を遅らせ、住民の意欲も引き出せなくなっている。8月中旬に町長選を行う。新しい町長の元、一丸となって、難局を乗り切りたい



⇒ <http://ameblo.jp/tanuma> ※「田沼隆志」で検索下さい！
「ブログ」や「写真」もあつきます。ブログを「読んだらいい！」

帰路、気仙沼や石巻など、沿岸部を見て回りましたが、どこも全く同じ状況。広範囲で被災しており、まさに国難です。不眠不休で頑張ってきた公務員の方々や、身内を亡くされた遺族の方々、そして命の限り避難を呼び掛け続けて亡くなった方々を思うと、心が震えます。**私たちは決してこの方々を見捨ててはいけません。**

また千葉市の防災としても、様々な取り組みが必要です。他市との連携や、庁舎機能・場所の検討、ボランティア受容れ体制の準備、住民の自立心の涵養など。同胞が払った高い授業料を、ムダにしないために…

●6月議会質問：選挙公約「千葉立て直し政策」を追求！

市職員の定員適正化計画だと、これまでは年約100名減だったのに、今回は約60名減と、改革が鈍っている。もっと大きな目標値を定めるべきでは？

高い目標値と認識している。(田沼：他の政令市ではもっと人口当たりの定員数が少ないところもある。改革がまだまだ足りない！)

膨らむ社会保障費を食い止めるには、公助から共助への政策転換が必要。3世代同居事業は家族の絆を高め、共助を促進し、とても有効と考える。更なる拡大を目指すべきだが、今の反響や需要喚起策は？

反響は良い。市政だよりやHPの他、民生委員にも制度の周知をお願いし、需要喚起している。(田沼：期待しています！ただ、今の適用条件は厳しい。更なる改善・拡張を求めます)

健康で元気な高齢者は、ご本人のためのみならず、市としても公的負担が少なく、大変有難い存在。このような方を表彰するような仕組みは作れないか？

研究する。(田沼：研究成果に期待します。社会保障費を減らす努力に、市民全員が取り組めるように…！)

皆さんとのお約束ですから、更に深掘りをしていきます。日本再建のエネルギー源となる千葉市を目指して…！

田沼隆志の
伝える
政治

- ・田沼新聞は季刊です。各議会終了後、稲毛区全戸に新聞折込
- ・市政懇談会も、原則年4回、各議会終了後開催
- ・事務所は毎週土曜日午後に関所。予約不要です

- ・ブログ (<http://ameblo.jp/tanuma>) もしばしば更新。色々なご連絡や、骨太の主張も、全てここが中心。ぜひ定期チェックを！
- ・好評のメルマガ「田沼ニュース」発行は月2、3回程度です。登録募集中！ tanuma@tanuma.info に「配信希望」と送信下さい！



千葉市議・田沼隆志(無所属)

- ・昭和50年(1975)生 35歳
- ・園生幼、小中台南小、小中台中、千葉東高、東京大学 卒
- ・平成21年千葉市議補選にて最高位当選(11,781票)
- ・平成23年千葉市議選にて再び最高位当選(8,522票)



お気軽に
ご連絡
を♪

- Twitter @tanumatakashi (投稿多数！)
- Blog <http://ameblo.jp/tanuma>
- Mail tanuma@tanuma.info
- TEL 043-253-9610 (必ずお返事します)
- 事務所 小仲台4-14-8 (『園生団地入口』バス停向い)